

県高校駅伝

男子・明石高専が29位

明石清水も力走31位

丹波篠山市で7日に開かれた男子第76回、女子第38回県高校駅伝（神戸新聞社後援）。明石勢では、男子の明石高専が出場40校中29位に入り、3年連続出場の明石清水は31位だった。

（1、スポーツ面参照）

3年生中心に 学校記録更新

明石高専

○：目標だった20位台目前半には届かなかったが、2008年の学校記録を8秒更新した明石高専。中心となった3年生らが互いにたたえ合った。

課題の長距離克服のため、練習では10キロ走を積極的に取り入れた。「良い形で後輩にバトンを」と臨んだ1区山本雄大選手（3年）が26位でたすきリレー。その後35位まで沈んだが、区間11位の6区香西一樹選手（1年）ら5〜7区全員が順位を上げた。

佐藤瑞生主将（3年）は「長距離の耐性がついたの

で、後輩に期待したい」と話した。（竜門和諒）

3年連続県大会 全員「楽しめた」

明石清水

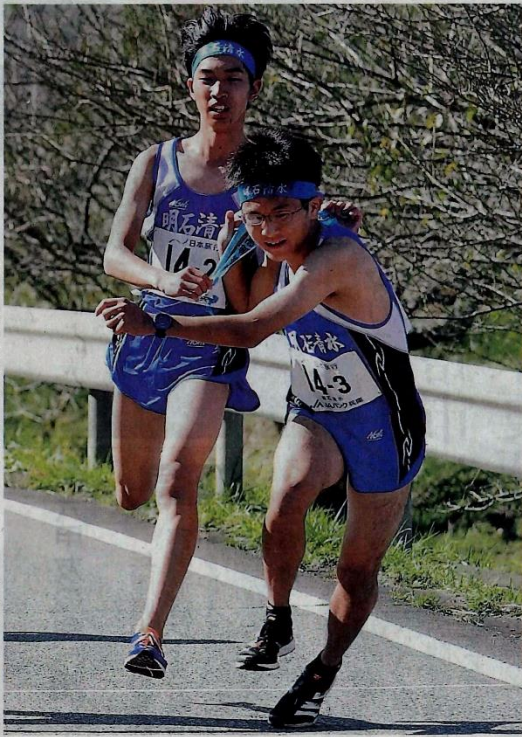
○：男子の明石清水は、目標にしていた県大会出場を3年連続で達成。鳥井大輝主将（2年）は「全員が自分の走りを楽しめた。支えてくれた親や先生に恩返しできたと思う」と部員らと笑い合った。

1区鳥井主将が37位でたすきをつないだが、徐々に順位を上げ、7区菊池流弥選手（2年）が「最後の坂道は気合だった」と3人抜きで31位につけた。

強豪校との合同合宿など、厳しい練習を乗り越えたことがチームの自信につながった。鳥井主将は「篠山で走れたことが誇り」と晴れやかだった。（竜門和諒）



男子・明石高専の2区山口大空選手（左）からたすきを受け取る3区一井智央選手（いずれも丹波篠山市内）（撮影・坂井萌香）



男子・明石清水の2区八田響太選手（左）からたすきを受け取る3区原嶋一輝選手